修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　白滝末紀
東京都千代田区西神田
2丁目8—7（幅ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務でもある。
（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

# 望ましい修学旅行

## 座談会 ＜5＞

# 疲労度違う新幹線

## 東京都・中学校の実践にきく

三井　先生がたのご発言をまとめてみたいと思います。新幹線をつかうようになってよい点は、まず夜行でなくなったことでしょう。疲労度がまったく違うのですね。コースの選定については、修学旅行は生徒中心に考えるべきであり、学習のなかで興味を持ったことなどを中心に、コース選びをすることが必要でしょうね。新幹線では車中での説明がなく、生徒たちはトランプをやったりして遊んでいた。スピードが早くて説明しにくいとしても沿線の説明は先生が交代でマイクを通じてやられたほうがよいですね。中野区のある中学校では三年生全部に京都市内の神社仏閣を事前調査させてその研究結果を展示したのですが興味をそそっていたようです。事前の研究がよくできていれば、持参して現地で確かめることもできるわけです。

島根　車中では一定の時間を区切り、予習の時間としてグループ活動をさせることはできますね。放っておいては駄目なんです。私は車窓からの見学ポイントをきめておきましたし、車掌さんの説明ともうまく合って、それを聞いたあとはトランプをしたりしていました。必要なのはポイントだけは見逃がさぬことでしょう。私など京都までずっと窓から眺めていても、少しも飽きませんがね。

青山　修学旅行について行ったのは、戦後、中野区で二回だけだけれど、必らず生徒は車中で二時間も三時間もトランプをやっていた。これはまったく時間のロスですね。もっとも朝から晩まで勉強ばかりで、同情はするけれど、どうも全部の時間を無駄にしている感じだ。見学のポイントを確認しあって、一時間ぐらいやるとか、くふうができないものかしら。修学旅行は人間関係を深める場としても大きな役目を持っている。そのためにはスケジュールは子どもにウエイトをおいて作成すべきだし、あわただしい日程でグルグル回わるより三泊四日ぐらいでゆっくりさせたいですね。

小春　つぎに公費負担の問題について。修学旅行は義務教育のなかで行なわれるので公費にすべきだというけれど、これに対して反対もあるのですね。要求することは知っていても、感謝する気持ちがなく、また、親としてのつとめを果たしていないというのです。いろいろな意味で援助ばかりしてしまい、例えば学校給食など、母親は弁当を作らなくてすむし、これでは親の責任がないではないかという反論なのです。義務教育の観点からいえば、諸経費の高騰であるていど考えてもらわねばなりません。

青山　修学旅行の費用は全額公費で負担して全員参加すべきだしまた、先生がたのご苦労にたいする超勤手当てなど、方向としてはそうあるべきでしょう。遠隔地、東京都の多摩地区にたいする行政処置も必要だと思いますね。全修協としても各関係機関と歩調を合わせて、この方向への実現を押しすすめてまいりますので、ぜひご協力を願いたいと思うのです。この座談会では修学旅行実施面について事前準備・事後処理まで全般にわたっていろいろご意見をうけたまわり、われわれとしても参考になりました。長時間にわたって貴重なご高説をいただき、ありがとうございました。

（おわり）

出席者
（敬称略・順不同）
中野区立第八中学校長・東京都中学校修学旅行対策委員長　小春　吉敏
日野市立第五小学校長　三井　知夫
福生市立第二中学校教頭　相沢　周三
新宿区立落合第二中学校教諭　川本　進
荒川区立第四中学校教諭　宮沢　義美
大田区立安方中学校教諭　島根　芳
（財）全国修学旅行研究協会理事長　山本　種一
中野区教育委員会教育委員長・（財）全国修学旅行研究協会理事・東京都支部長　青山　良道
（財）全国修学旅行研究協会事務局長　白滝　末紀

## 無駄な時間が多い



川本　事前指導にはいろいろ参考書もありますが、帰ってきてからその記録と、なかには箸の袋や写真などを加えて一冊のノートを作り展示しました。それは修学旅行の思い出ともなるので、父兄からも好評を得ました。もっとも、やる前には生徒は不平をいっていましたけれど…。（その作品を回覧）できあがってみれば、なかなか立派なもので、生徒たちにとってはなつかしさもひとしおでしょう。

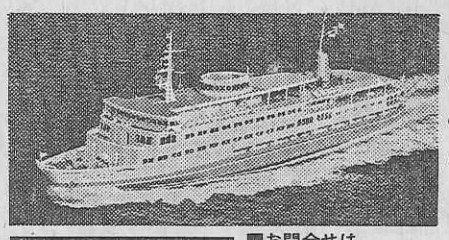
小春　これだけまとめあげればりっぱなものですね。コースとしては幾通りもあるのですが、アンケートの結果をみると、京都駅乗降が九十校ぐらい、米原駅下車・京都駅乗車が約六十五校、名古屋下車・京都駅乗車が十五校ぐらいという数字が出ています。

宿泊料は食事のこともあって大きな幅があるようです。新幹線列車での車内説明は国鉄との契約で義務づけられており、車掌がデキストを読むことになっているのですが、人によっては得手不得手があって、やらないものもある。しかし新幹線は新しいコースだから〝通かに見えますのは…〟式ではどうも実感がありませんね。新幹線は山をくり抜いたりして走っているので、東海道線と違ってどうもピンとこない。だから子どもたちが身を入れないのと、兄や姉の見たときと違ってあっけないということもありますね。都会の子どもはせっかく修学旅行に行っても旅館にはいると、すぐトランプなんかやっている。どうもその気持ちがわかりませんね。京都へ行ったら京都の風景を見たり眺めたりする気分にならないものかと不思議に思うんです。あれも、それとなく指導するのも、ひとつのポイントではないでしょうか。

日本の旅　世界の旅
電算機がお手伝いする
ひまわり窓口
近畿日本ツーリスト

## 風紋

四月十二日、午前七時五十分、上野駅団体待合室に集合。いよいよわが駒場学園高等学校の修学旅行が開始されたのである。初日から四日間、新潟県松之山町で調査旅行を行なった。松之山は過疎で村には若者たちは少なく、僕達が調査した家には若い人達は見られなかった。若者がいなくなり、年よりばかりの村、僕はこの先この村がどうなっていくのか心配だ（野口広男）▼交通も不便だし、冬は何メートルもの雪におおわれることが多いので、部落内での協力、助け合いが多いのではないだろうか。つまり、われわれ都会に住んでいる人間の薄っぺらな人間関係とちがいとても親密な関係だと思う。この松之山での経験は、きっと私の人間形成の上で大きな位置を占めるだろう▼ほとんどの家庭の長男、二男は都市近郊に出て働いている状態だった。これは政府が農村に対する考え方をもっと根本的に変えなければぜったいに農村における過疎問題は解決しないと私は思う（宮本智彰）▼これらの高校生の感想は、昨年、駒場学園高校が従来の見学巡回型の修学旅行をさらに実のあるものにしようと、社会調査をとり入れて実施した記録「出稼ぎのムラへの修学旅行」（人間の科学社）からの引用である。この記録は多くの示唆をもつ貴重なものだと思う▼同校では、修学旅行には体験学習とレクリエーションの二面性があるが、とくに体験学習に力点をおき、前半を調査旅行、後半を見学旅行にした新しい試みを計画したという▼いま、この修学旅行の評価については、何とも結論は出せないが、何年後何十年後にこの旅行に参加した生徒諸君が出してくれると思うと同校教務主任伊藤道彦氏がのべているが、大いに共鳴するところである。

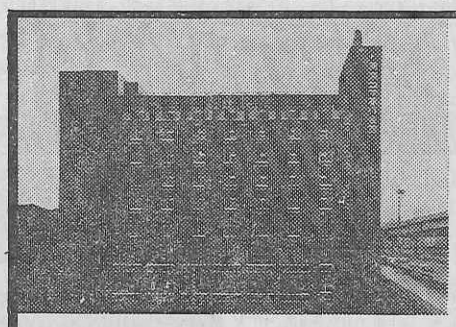
KANSAI LINE
思い出の修学旅行
印象的な、瀬戸内海の船旅

●阪神—別府航路（毎日4便）
●阪神—小豆島・高松航路（毎日4便）ほか
●神戸—日向（宮崎）フェリー（隔日1便）
関西汽船
■お問合せは
大阪市北区宗是町1（06）441—4100/東京都中央区八重洲1-9-9（03）281—2621
ほか関西汽船・関汽交通社各地営業所・各旅行あっ旋案内所へ

霊峰比叡でお泊りを
■素晴らしい琵琶湖の夜景
■根本中堂で早朝の座禅
■スッキリした気分で次のコースへ

＜修学旅行のお宿＞
収容　1,000名様
第3別館49年7月オープン
ただいま増築しております
比叡山
延暦寺会館
ENRYAKUJI KAIKAN
0775—78—0047

■ひろがる緑の高原■そそりたつ日本アルプス連峰
■澄みきった空と湖

自然のなかのチロル風ホテル
〈修学旅行に最適〉
清風園
女神湖ホテル
長野県北佐久郡立科町芦田
TEL 026755—6006 〒384-23
案内所　■東京03—844—1710・1801 ■中部0587—66—2121　■名古屋052—962—0585　■大阪06—304—1024


東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。
東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。
ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL（03）585—1046（代表）
東京　コマ旅行会館

# 春の研修旅行終わる

## 好評うけた各コース

### 参加者の声　〝学年末を有意義に〟

ことし春の研修旅行は三月下旬「西九州コース」三団、「沖縄・石垣島コース」四団、「難波・飛鳥・大和の古文化探究コース」一団、それに近畿地区の「隠岐島コース」三団で実施、約六百名の参加者が希望のコースで研修した。春の研修旅行は三回目、年ごとに参加者の数がふえている。学年末のわずかな余裕を旅によって満たすほか、興味深い研修行事で知的向上を図ろうとする意欲にあらわれているのが特徴といえよう。アンケートによると参加者はみなこの旅行に満足し、全修協の企画に大きな期待をかけている。アンケートのなかから、おもなものをひろってみると―。

**西九州コース**

○バス・ガイドの至れりつくせりの説明で、忘れることのできない旅だった。○旅館、食事など、とても満足しました。○これまで北海道、四国、飛鳥コースに参加しましたが、いずれも優秀なガイドや運転手であったため安心して旅行ができましたが、今回も同じように楽しい六日間でした。○内容もよく、すべての点で最高。参加者の要望にこたえ伊万里焼の展示館に立ち寄って下さったことを感謝します。○気軽に安心して参加できたのがよかった。旅館も食事も良好。○コースに平戸が入っていたのでよかった。九州はこの時期が最適なので、こんどは南九州コースをぜひ。

**沖縄・石垣島コース**

○期待していたコースだけに興味深く研修できました。とくに復帰後の沖縄県の姿をみることができ、認識をあらたにしました。○いきとどいた計画で、楽しく旅行ができました。単独で参加したのですが、同職の教員ばかりだったので、すぐ打ちとけたのがうれしかった。○旅館での郷土民謡や舞踊が印象的だった。

**難波・飛鳥・大和の古文化の探究コース**

○日程をもう一日くらい増やし見学場所をしぼってほしかった。講師の説明は親切ていねいであった。○内容やテーマが豊富でよかったが、日程の短かかったのが残念○多人数のため、せっかくの講師のお話も聞きとれなかった。講師は一班に一名の割で○個人では不可能なところへも行けてうれしかった。○なかなか充実した見ごたえのあるコースで、とくに野山の自然道も歩けたことは最高だった。ほかの旅行では味わえません。○春休みを研修に利用できてよかった。甘樫丘から飛鳥の星の一望はすばらしい。○遺跡のねむる野道を踏みしめながらの講演はよい勉強になった。○二泊三日はちょうどよい日程だ。○テーマが設定されているのがよかった。

### 夏の研修旅行　ただいま募集中

国内をほじめ海外教育事情視察など多彩なコース揃いです。くわしいことは学校に掲示のチラシをごらんください。

## 全修協だより

▼完戸一郎氏（常務理事・山形県支部長）山形県議会副議長に就任。▼岩尾寛氏（和歌山県支部長）和歌山県選挙管理委員に就任。

**本部事務局人事**（四月一日付）

総務部長　嶋津佃郎、総務部勤務　越石文子＝以上新採用。

▼調査研究部長　白滝末紀（事務局長兼務）▼総務部副部長　早川泰雄（広報部長兼務）▼中央研修部係長　竹内雅量（主任）

新しく総務部長に就任した嶋津佃郎氏は姫路師範、中央大学法学部卒、東京都内の中学校教諭を経て昭和三十五年から中野区内の中学校長を歴任、四十六年退職後、都就学相談員などを勤めた。

総務部勤務の越石文子さんは私立鴎友学園女子高校から本年駒沢大学文学部地理学科卒。

## 歴史の道　＜2＞

## 絹の道

### 石垣に繁栄しのぶ

### ―鉄道開通で人通りもなくなって

三浦富雄

横浜を出る船という船が、日本の絹を満載して、目の青い女性のもとへ運んだ。小金のある地主などが、一獲千金をねらって、われもわれもと生糸商人になった。明治六年の記録によると、開港場をひかえた神奈川と、集散地の中心となった多摩地区をあわせて、生糸商人二千六百九十八人、うち七割を越す千九百三十六人を、多摩の商人で占めたという。鐙水には〝市〟が立ち、このおびただしい商人の群れが集まってきた。その盛んなことは「江戸鐙水」といわれたほどで、外国商人まで屋敷を構えた。「家数九十烟」と風土記稿が記した山村を舞台に、商人たちの掻きたてた気違い景気が想像される。

さがしていた「絹の道」の道標は、都道と並行して、百㍍ほど北側を走っている旧鎌倉街道にあった。小さな火の見ばしごが立っていて、半鐘がぶら下がっている。その下である。道標は高さ二㍍ほど、横四十㌢ばかりの石の角柱で東に面して、「此方・はら町田・神奈川・ふじさわ」、反対の面に「此方・はし本・津久井・大山」裏側に「慶応元年乙丑仲秋吉日・武州多摩郡鐙水村」と、見事な草書体で刻んである。横に「郷土の文化遺産・幕末の道標」の立て札があり「この道が、西武蔵および甲信地方の生糸を、輸出の花形として開港場神奈川へ送った重要な街道であったところの道標である。

歴史的にも美術的にも、道標としては都下随一と称されている」とある。その立て札と並んで「異人館」「絹糸商屋敷跡」「絹の道の碑」などの所在を示した八王子市教育委員会の、「市史跡・絹の道」の案内板が立っていて江戸時代末期から明治にかけて、八王子中腹に、鐙水商人の屋敷跡があった。道にそって右側に石垣が五、六十㍍残っている。高さおよそ二㍍、大きい石は直径四、五十㌢もあって、戦国初期、豪族たちの築いた山城を思わせる。万金を投じて積み上げたものにちがいない。屋敷前の道幅は三㍍ばかり、左側は二、三十㍍切り立って、崖下から御殿峠へつづく丘陵のすそまで畑が広がっている。屋敷は、この石垣の上に高々と立って、眼下をへいげいしていたのであろう。いまは一面の雑草におおわれ、枝を伸びるにまかせた何本かの桑の木があるのみである。目のとどくあたりに人影はない。

屋敷跡を、さらに三、四分進むと、道は二手に分かれる。右の道が丘陵の屋根づたいに、御殿峠へ通じる絹の道である。狭い坂道になり、雑木林が左右にせまって、頭上にかぶさってきた。こんな道を、世界の女性を狂喜させた日本の絹が、運ばれて行ったのだろうか。

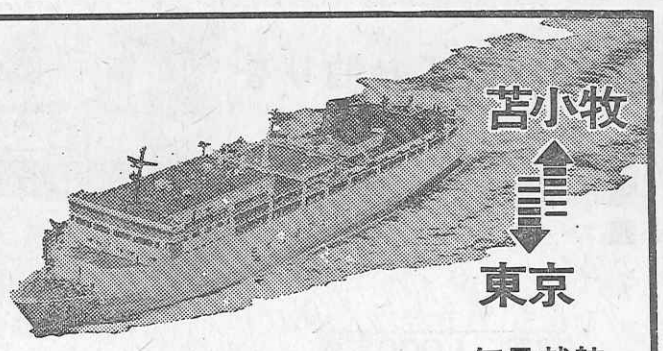
明治政府は生糸政策に、財政の命運をかけた。租税頭・陸奥宗光が、粗製乱造を防ぐため、生糸関係者を集めて生糸改（あらため）会社の設立を呼びかけたのもその一つである。山上重郎左衛門など六人の生糸商人が中心になって、八王子生糸改会社が設立された。萩原半蔵らによって、機械製糸工場も操業を始めた。明治十年前後のことである。ついで明治天皇ご巡幸。随行の太政大臣・三条実美より、萩原半蔵に賞辞あり、と記録にある。八王子には国立銀行も設立され、日本生糸業界の重鎮にのしあがった八王子財界の谷合弥七が頭取に納まった。外貨獲得の期待が「せまき所は三尺ばかり」のこの絹の道にかけられたとほ、いま、雑木林を歩く何びとの想像で偲ることだろう。

生糸商人たちの守り神でもあった道了堂は、雑木林を抜けて、さらに北へ五、六分ほどたどった丘の頂上にあった。突き当たりに二十段ばかりの石段があって、その左下に春の日ざしをうけた「絹の道の碑」が、あたたかく立っていた。表面は、ただ「絹の道」の三文字だけ。静寂な道筋のわきのこの碑に、往時の繁栄ぶりが塗り込められているかのようだった。

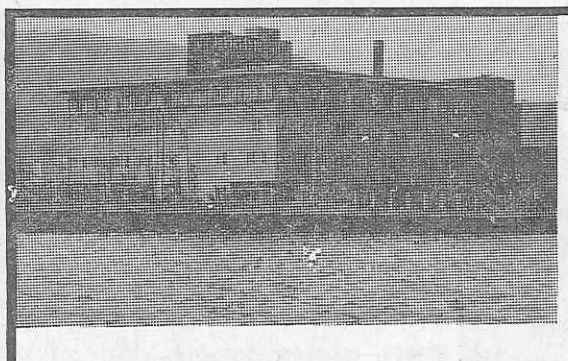
＝つづく＝（郷土史家）

絹の道。左の石垣が鐙水商人家敷あと。

若い時の思い出に
30時間の楽しい旅




毎日就航
日本沿海フェリー
本社／東京都港区新橋1-10-7（大和銀行新橋ビル）☎(03)573-1911
札幌支店／札幌市中央区南大通り西10-4（高橋ビル）☎(011)261-6321



いらっしゃいませ
びわ湖国定公園
近江路の旅へ
収容　600名様
浴場　150名様
設備　全館冷暖房
防災　諸設備完備
駐車場　バス20台
政府登録
国際観光旅館　びわ湖ツーリスト・ホテル
大津市におの浜3丁目1－4　電話　大津(0775)24－2321

チロル風のホテルは仲良し8人が一緒です。
集団生活の安全管理と宿泊の生徒さんの自主管理の両面から入念に設計された　スズカビレッジ
●全館冷暖房完備
●防火優秀ホテルとして昭47.7消防庁長官賞受賞

2人で1台実物のエンジンを分解・組立てる
250名収容のテクニカルホールの生きた科学教育。
空へ、水へ、緑の中へ…自分でハンドルを握る〝ゆうえんち〟。
国際レーシングコースを走るレーサー気分も……
そして陽の落ちた広場でファイアーストームを囲んで
校歌を歌うひととき――
チロル風ビレッジの一夜、翌朝伊勢湾から昇る朝日も
忘れがたいもの、どれを取っても
学生生活を刻んだキラリと光るひとコマです。

昨年一年間で11万人もの学生さんが
この思い出深い修学旅行を体験しています
「人と科学と自然の接点」
今年の修学旅行こそスズカを加えた
《新近畿ルート》をご検討ください。
スズカから京・奈良・伊勢・志摩へも2時間の距離
未来と過去を結ぶ理想の修学旅行コースです。
鈴鹿国定公園、国鉄周遊指定地
スズカランド　鈴鹿サーキット
三重県鈴鹿市稲生町
電話＝0593〈78〉1111
株式会社ホンダランド
本社：東京都中央区銀座4-2-2　☎03〈535〉6251
大阪営業所：大阪市北区南扇町15　☎06〈313〉0841